

労働者の心身の健康と職場環境

神戸大学大学院経済学研究科

研究員 中野あい

要旨

近年、メンタルヘルス（心の健康状態）不調に陥る労働者が増大している。先行研究では、労働者のメンタルヘルス不調が勤め先の企業業績に影響を与えることが明らかにされている。また、メンタルヘルスの不調だけでなく、労働者の身体的不調を理由とする労働損失が大きいことが明らかにされている。

本研究では、メンタルヘルスとともに身体の健康状態にも着目し、労働時間や職場環境が労働者の心身の健康に与える影響を検証した。本研究では、個票データを用いた実証分析により、心の健康状態と身体の健康状態が相関関係にある可能性があることを明らかにした。

さらに、労働者の心身の健康状態と職場環境との関係を検証した。実証分析の結果として明らかになったことは、女性労働者は心身ともに不健康に陥りやすいこと、職場における人間関係や仕事の内容、不規則な勤務など問題がある場合、労働者の心のストレス頻度を高めるとともに、身体的症状の出現に影響を与える可能性が示された。